

戦争準備NO!! 日本政府は禁止条約の署名・批准を 5月29日(月)白浜町集会・2023年原水爆禁止国民平和大行進



5月29日(月)白浜町です。集会前、白浜町原水協榎本清司さん、田辺・西牟婁原水協檜山和生事務局長、県事務局の3人で、町長室と議会事務局を訪問。ペナントと協賛金を受け取ります。

小雨の降る中、白浜町出発集会が始まります。檜山和生さんの進行です。最初、地元代表挨拶、高田由一さんです。「広島でおこなわれたG7サミットでは、被爆者の人達も驚くような被爆地での核に固執する宣言が出されました。『被爆地広島から核抑止力を肯定する様な宣言を出した事は、到底納得できません』と被爆者の方から厳しい言葉が発せられました。G7に追随する国々がこっちの核兵器は良いのだけど、あっちの核兵器はいけない、こんな宣言を出されたのでは世界の核兵器を無くすという事には、決して繋がらないと私は考えています。」井潤誠町長が激励挨拶をします。「世界中で核兵器廃絶に向けて、多くの国際会議などが開催されるなど、具体的とりくみが為されています。唯一の被爆国・国民である私達は次世代の為にも、核兵器廃絶と世界平和をいっそう願い訴えることが何より重要だと考えています。白浜町も核兵器廃絶平和宣言の町を掲げています。今後、世界の人々を滅亡に導くような恐ろしい狂気が再び人類の上に使用される事がないように平和への祈りを捧げます。」続いて、正木秀男議長の激励メッセージです。「核兵器廃絶、世界の恒久平和は、全国民の共通の願いであります。しかしながら、全世界では依然として武力紛争が絶えず、とりわけ核兵器は人類のみならず、命の宿る全ての生存に深刻な脅威を与えています。核兵器のない平和で公正な世界を実現する、そして原水爆平和大行進の活動が多くの方々を共感と呼び、平和の願いが日本国内はもとより全世界に届き、真の平和が訪れる事を願ってやみません」横畑真治町会議員が代読しました。わかやま市民生協の川口研さんの決意表明。最後、白浜町集会アピールが読み上げられます。集会の参加は32人でした。平和行進です。雨が止みます。平和行進は、町庁舎から商店街と白良浜の横を歩き、坂道を登り再び庁舎に戻りました。5月30日は、上富田町内の平和行進です。

県事務局